

【気象・海況】 栄養塩は持続中

- 3 月下旬以降、気温は平年よりも低い日が多く、適度な降雨もある。気象予報では今後、周期的に天候は変化するが、気温は低めに推移し、曇りや雨の日も多いと予想されている。
- 4 月 3 日の観測では表層水温は内湾で 12~13℃台、内房は 14℃台。植物プランクトンの優占種は全域でスケルトネマ等の小型珪藻であり、漁期末の栄養塩濃度に大きな影響を与える大型珪藻ユーカンピアの発生はごくわずかであった。そのため、窒素、リンとも 4 月上旬としては比較的多く含まれている。（表 1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では、3 月下旬以降、沖合水の波及は弱まっている（図 1）。

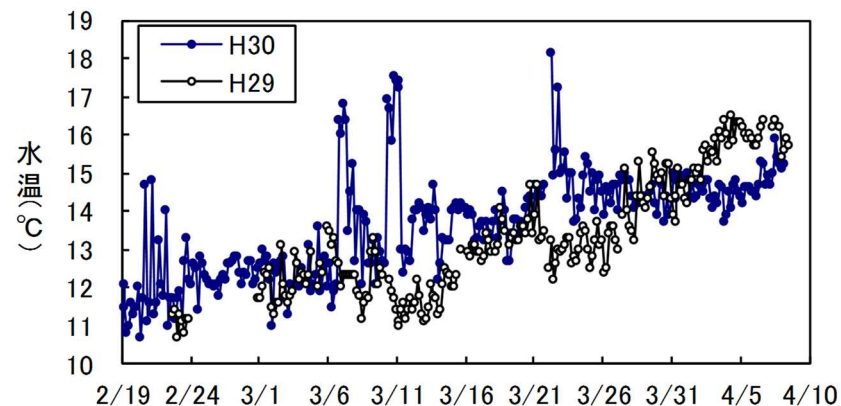


図1 昨年と今年度の漁期水温の比較(新富津観測ブイ)

【今後の留意点】

- 大型珪藻ユーカンピアが少ないこと、今後も菜種梅雨が予報されていることから、色のあるノリ生産をもう少し続けることができそうです。
- 全国のノリ生産県ではほぼ終漁に向かっており、単価的にも期待できる状況ですので、生産ピークを築き、養殖初期の不漁を挽回してください。
- 現在、あかぐされ病やノリ葉体の成熟など葉体のイタミが進行していると思いますが、適切な酸処理を行い、漁期終漁まで計画的な生産を継続してください。

表 1 水質観測結果(4/3)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	12.4	31.5	8.1	3.5	581	50
盤洲 C ブイ	12.6	31.6	8.3	3.0	434	13
盤洲 B ブイ	12.4	31.6	8.3	3.7	444	12
盤洲 A ブイ	13.3	32.2	8.3	3.8	371	11
富津ベタ	13.3	32.7	8.2	3.8	334	1
2 海ほ下	14.4	33.2		5.0	208	10
大貫沖	14.8	33.5		7.0	174	8

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。